# 2015 年度(平成 27 年度)事業報告書

〔 自　2015 年(平成 27 年)4 月 1 日
　 至　2016 年(平成 28 年)3 月 31 日 〕

当財団は、「産業、経済、文化の発展に貢献する科学技術、芸術等を中心とする分野で著しい貢献をした者の顕彰、研究又は普及啓発に対する助成等を通じてその促進を図ると共に国際相互理解の増進に努め、もって社会の啓発に貢献し、人類の平和と繁栄に寄与する。」ことを目的として、1984 年(昭和 59 年)4 月 12 日に設立された。
1985 年(昭和 60 年)に第 1 回京都賞授賞式、第 1 回研究助成金贈呈式を開催し、事業を開始した。また、2011 年(平成 23 年)4 月 1 日に公益財団法人の認定を受け、新公益法人制度に基づいた運営を開始した。

## 2015 年度事業計画（概要）

### Ⅰ. 顕彰事業

1. 第 31 回(2015)京都賞受賞者を決定し、授賞式にて次の 3 賞を授与する。
   先端技術部門　：材料科学
   基礎科学部門　：地球科学・宇宙科学
   思想・芸術部門：映画・演劇
2. 第 32 回(2016)京都賞に向け、候補者推薦の受付及び審査選考を開始する。
3. 第 33 回(2017)京都賞に向け、審査機関委員を決定する。

### Ⅱ. 助成事業

1. 2015 年度研究助成として、贈呈式を執り行い、研究助成金を贈呈する。
2. 2016 年度研究助成に向け、申請書の受付及び選考を行い、助成対象者を決定する。
3. 2017 年度研究助成に向け、選考委員を決定する。
4. 2015 年度特別助成として、研究機関の事業援助及び、国際相互理解増進のため、助成対象案件について審査及び助成を行う。
5. 2016 年度特別助成に向け、審査委員を決定する。

### Ⅲ. 社会啓発事業

1. 米国「倫理と叡智のための稲盛国際センター」の活動を支援する。
2. 国際相互理解の増進、及び学術の振興に寄与する活動を行う。

## Ⅰ．顕彰事業

### １．第 31 回(2015)京都賞に関する事項

#### （１）京都賞審査機関による審査

国内、海外の有識者より推薦された候補者について、2014 年度に開催された各部門専門委員会及び審査委員会に引き続き、京都賞委員会を開催し、受賞候補者の審査を行った。

#### （２）受賞者の決定と発表

2015 年 6 月 19 日開催の定時理事会において、第 31 回(2015)京都賞受賞者を下記 3 氏に決定し、同日記者会見を行なって発表した。

①先端技術部門受賞者

國武 豊喜 博士（Toyoki Kunitake）

職　　業：化学者
　　公益財団法人 北九州産業学術推進機構　理事長

国　　籍：日本

贈賞理由：

「合成二分子膜の発見による分子組織化学の創出と材料科学分野への先駆的貢献」

人工分子から生体膜の基本構造である二分子膜が自己組織的に形成されることを世界ではじめて報告し、更にこれが広範な有機溶媒中の両親媒性化合物に起こる普遍的な現象であることを見出した。またこれらの体系化と様々な合成技術の開発により、分子組織化学という新たな学問潮流の創出に本源的に貢献した。

②基礎科学部門受賞者

ミシェル・マイヨール博士（Michel Mayor）

職　　業：宇宙物理学者
　　ジュネーブ大学　名誉教授

国　　籍：スイス

贈賞理由：

「太陽系外の惑星の発見による新たな宇宙像の展開への多大な貢献」

太陽系以外の惑星を見出すという天文学の長年の基本的問題に対して、分光装置の開発などの一連の観測技術の向上により、初めて太陽型恒星のまわりを公転する系外惑星を発見することで答えを与えるとともに、系外惑星の多様な姿を明らかにして新たな研究分野の開拓に大きく貢献した。

③思想・芸術部門受賞者

ジョン・ノイマイヤー氏（John Neumeier）

職　　業：振付家
　　ハンブルク・バレエ団　総裁・芸術監督

国　　籍：ドイツ・アメリカ

贈賞理由：

「20 世紀バレエの流れを刷新し、今世紀もなお世界の舞踊界を牽引し続ける振付家」

伝統的なバレエの動きをベースとしながら、身体の持つ表現力を最大限に引き出し、人間心理を巧みに表現した振付によって舞踊界をリードし続けている。20 世紀以降のバレエ史において２つに分かれて発展してきた劇的バレエと抽象バレエの本質を統合し、舞踊という芸術を一段の高みへと引き上げた。

## （３）京都賞審査機関委員の公表

受賞者の発表に併せて、第 31 回(2015)京都賞審査機関委員を下記の通り公表した。
（役職は公表時現在）

[京都賞委員会]

| | |
|---|---|
| 中西 重忠（委員長） | 京都大学　名誉教授 |
| 甘利 俊一 | 理化学研究所 脳科学総合研究センター 特別顧問 |
| 巌佐　庸 | 九州大学 大学院理学研究院 教授 |
| 梶山 千里 | 福岡女子大学 理事長・学長 |
| 榊　裕之 | 豊田工業大学 学長 |
| 佐藤 文隆 | 京都大学 名誉教授 |
| 扇田 昭彦 | 演劇評論家　※2015 年 5 月 22 日ご逝去 |
| 長木 誠司 | 東京大学 大学院総合文化研究科 教授 |
| 野依 良治 | 科学技術振興機構 研究開発戦略センター センター長 |
| 本庶　佑 | 静岡県公立大学法人 理事長 |
| 森　重文 | 京都大学 数理解析研究所 教授 |
| 鷲田 清一 | 京都市立芸術大学 理事長・学長 |

[審査委員会]

①先端技術部門

| | |
|---|---|
| 梶山 千里（委員長） | 福岡女子大学 理事長・学長 |
| 魚崎 浩平 | 物質・材料研究機構 フェロー |
| 片岡 一則 | 東京大学 大学院工学系研究科 教授 |
| 榊　裕之 | 豊田工業大学 学長 |
| 玉尾 皓平 | 理化学研究所 グローバル研究クラスタ長・研究顧問 |
| 平野 眞一 | 上海交通大学 致遠講席教授・学長特別顧問・平野材料創新研究所長 |
| 前川 禎通 | 日本原子力研究開発機構 先端基礎研究センター センター長 |
| 村上 正紀 | 立命館大学 特別招聘研究教授・理事補佐 |

②基礎科学部門

| | |
|---|---|
| 佐藤 文隆（委員長） | 京都大学 名誉教授 |
| 大久保 修平 | 東京大学 地震研究所 教授 |

岡村 定矩　　法政大学 理工学部 教授
寺澤 敏夫　　東京大学 宇宙線研究所 教授
鳥海 光弘　　海洋研究開発機構 海洋地球生命史研究分野 分野長
松井 孝典　　千葉工業大学 惑星探査研究センター 所長
観山 正見　　広島大学 学長室 特任教授
余田 成男　　京都大学 大学院理学研究科 教授

③思想・芸術部門
扇田 昭彦（委員長）　演劇評論家　※2015 年 5 月 22 日ご逝去
尼ヶ崎 彬　　学習院女子大学　国際文化交流学部 教授
大笹 吉雄　　演劇評論家
川本 三郎　　文芸・映画評論家
平野 共余子　映画史研究家
松岡 和子　　英文学者・演劇評論家
三浦 雅士　　文芸・舞踊評論家
村山 匡一郎　日本大学 芸術学部 教授

[専門委員会]
①先端技術部門
村上 正紀（委員長）　立命館大学 特別招聘研究教授・理事補佐
大野 英男　　東北大学 電気通信研究所 所長
君塚 信夫　　九州大学 大学院工学研究院 主幹教授
栗原 和枝　　東北大学 原子分子材料科学高等研究機構 教授
黒田 一幸　　早稲田大学 理工学術院 教授
永長 直人　　理化学研究所 創発物性科学研究センター 副センター長
橋本 和仁　　東京大学 大学院工学系研究科 教授
横山 直樹　　産業技術総合研究所 研究顧問

②基礎科学部門
松井 孝典（委員長）　千葉工業大学 惑星探査研究センター 所長
家　 正則　　自然科学研究機構 国立天文台 教授
小山 勝二　　京都大学 名誉教授
柴田 一成　　京都大学 大学院理学研究科 教授
須藤　靖　　東京大学 大学院理学系研究科 教授
中村 正人　　宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 教授
山形 俊男　　海洋研究開発機構 アプリケーションラボ 所長
坂本 尚義　　北海道大学 大学院理学研究院 教授

③思想・芸術部門
大笹 吉雄（委員長）　演劇評論家

石坂 健治　　日本映画大学 教授
古賀　太　　日本大学 芸術学部 教授
瀬戸　宏　　摂南大学 外国語学部 教授
中条 省平　　学習院大学 文学部 教授
永田　靖　　大阪大学 大学院文学研究科 教授
長野 由紀　　舞踊評論家
貫　成人　　専修大学 文学部 教授

## ２．第 31 回(2015)京都賞授賞式及び関連行事の開催

### （１）受賞者歓迎レセプション

日　　時：2015 年 11 月 9 日（月）18:30
場　　所：京都ホテルオークラ
主　　催：京都府、京都市、稲盛財団
貴　　賓：高円宮妃久子殿下（稲盛財団名誉総裁）
内　　容：受賞者夫妻の入洛を歓迎し、レセプションを開催した。

### （２）第 31 回(2015)京都賞授賞式

日　　時：2015 年 11 月 10 日（火）15:00
場　　所：国立京都国際会館 大会議場
貴　　賓：高円宮妃久子殿下（稲盛財団名誉総裁）
受 賞 者：國武 豊喜 博士（先端技術部門）
　　ミシェル・マイヨール博士（基礎科学部門）
　　ジョン・ノイマイヤー氏（思想・芸術部門）
出席要人：ウルス・ブーヘル　駐日スイス大使
　　菅原 郁郎 経済産業事務次官
　　大使・総領事関係者 45 名
　　国会議員関係者 5 名
　　学術・文化機関の長 37 名
出席者数：1,700 名
祝　　辞：バラク・H・オバマ　アメリカ合衆国大統領
　　ヨアヒム・ガウク　ドイツ連邦共和国大統領
　　シモネッタ・ソマルーガ　スイス連邦大統領
　　安倍　晋三 内閣総理大臣
内　　容：高円宮妃久子殿下ご臨席のもと、国内及び海外から多くの招待者を迎え授賞式を開催した。式典では、井村裕夫会長から受賞者へ京都賞メダルとディプロマ、賞金 5,000 万円が贈られ、受賞者は受賞にあたってのスピーチを行なった。また、内閣総理大臣と受賞国代表者から祝辞が寄せられ、受賞者の栄誉を讃えた。

**（３）晩餐会**

日　　時：2015 年 11 月 10 日（火）18:15
場　　所：グランドプリンスホテル京都
貴　　賓：高円宮妃久子殿下（稲盛財団名誉総裁）
出席者数：757 名
内　　容：授賞式に続いて、高円宮妃久子殿下ご臨席のもと晩餐会を開催し、多くの出席者が受賞者を祝福した。

**（４）記念講演会**

日　　時：2015 年 11 月 11 日（水）13:00
場　　所：国立京都国際会館 大会議場
出席者数：1,200 名
演　　題：「私の歩んだ道－研究に魅せられて」 國武豊喜博士
「太陽系外惑星－人類古来の夢から現代科学の対象へ」
ミシェル・マイヨール博士
「ダンス－感情に生きたかたちを与える」 ジョン・ノイマイヤー氏
内　　容：受賞者が上記のテーマで講演を行い、自らの研究や創作を通じて培われた人生観や世界観を披露した。
後　　援：京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都新聞、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、日本経済新聞社、産経新聞社、共同通信社、時事通信社、NHK、KBS 京都、エフエム京都、大学コンソーシアム京都

**（５）和輪庵夕食会**

日　　時：2015 年 11 月 11 日（水）18:30
場　　所：和輪庵
内　　容：受賞者と受賞者家族を囲んで、懇親夕食会を開催した。

**（６）ワークショップ**

日　　時：2015 年 11 月 12 日（木）
場　　所：国立京都国際会館
内　　容：部門ごとに、受賞者の講演ならびに、研究者や専門家を交えての研究発表やパネルディスカッションを行なった。
後　　援：京都府、京都市、ＮＨＫ

①先端技術部門「分子組織化学の創出と新たな展開」
出席者数：140 名
協　　賛：科学技術振興機構、光化学協会、高分子学会、錯体化学会、繊維学会、電気化学会、日本化学会、日本分析化学会、日本膜学会、日本油化学会、有機合成化学協会

②基礎科学部門「惑星系形成メカニズムと第二の地球探査」

出席者数：120 名

協　　賛：日本天文学会、日本物理学会、日本惑星科学会

**（７）京都賞ウイーク中の関連行事**

①高校生との交流

高校フォーラム　「宇宙を読み解く：物理学という素晴らしい道具」

日　　時：2015 年 11 月 13 日（金）14:30

場　　所：京都大学百周年時計台記念館「百周年記念ホール」

講　　師：ミシェル・マイヨール博士

出席者数：京都府内 9 校の高校生 435 名

内　　容：宇宙の謎にアプローチするためのツールとしての物理学の重要性や面白さについて、自身の系外惑星研究の実例なども交えて話をされた。

**（８）広報**

①テレビによる報道

NHK による理事長へのインタビュー番組および関西の NHK、KBS で、授賞式、記念講演会の模様が報道された。

②新聞・雑誌等による報道

全国紙をはじめ通信社の取材配信や海外マスコミによる取材があり、関連記事が国内で多数掲載され、海外でも WEB 版を中心に十数紙に掲載された。また京都新聞、読売新聞に京都賞受賞者の特集記事が掲載された。

**（９）京都賞街灯バナー及びデジタルサイネージの掲出**

11 月 1 日～11 月 17 日までの期間、京都の幹線道路、烏丸通りの JR 京都駅から丸太町通りに至る 3.5㎞の区間と京都賞の主会場となった国立京都国際会館の専用道路の街灯 132 本に、京都賞の開催を告げるバナーを掲出した。また、京都駅の地下鉄構内 24 面、国際会館地下通路 6 面にデジタルサイネージを掲出し、京都賞授賞式の開催や受賞者、京都賞メダル等を国内外の方々にアピールした。

**（10）鹿児島での関連行事**

「京都賞受賞者 鹿児島講演会」の開催

開 催 日：2015 年 11 月 16 日（月）

場　　所：宝山ホール（鹿児島県文化センター）

主　　催：京都賞受賞者講演会実行委員会

後　　援：公益財団法人稲盛財団

出席者数：1,500 名

内　　容：鹿児島県、鹿児島市、鹿児島大学および鹿児島商工会議所が主体となって組織された「京都賞受賞者講演会実行委員会」による講演会や歓迎レセ

プションの開催に協力した。また、講演会前日には鹿児島大学と共催し、城山観光ホテルにて歓迎夕食会を実施した。

### (11) ハンブルク・バレエ団日本公演協賛

第 31 回京都賞 思想・芸術部門受賞者であるジョン･ノイマイヤー氏が総裁・芸術監督を務めるドイツのハンブルク・バレエ団が、7 年ぶりに来日公演を行うにあたり、2,000 万円の寄附を実施し、「ジョン・ノイマイヤー『京都賞』受賞記念」として特別協賛を行った。

### (12) 米国での関連行事

「2016 年京都賞シンポジウム」の開催協力

開 催 日：2016 年 3 月 15 日（火）～17 日（木）
場　　所：カリフォルニア州サンディエゴ市
主　　催：京都賞シンポジウム組織
共　　催：サンディエゴ州立大学、カリフォルニア大学サンディエゴ校、
　　サンディエゴ大学、ポイント・ロマ・ナザレン大学、稲盛財団
出席者数：2,060 名
内　　容：第 31 回京都賞受賞者による講演会及び慈善晩餐会の開催に協力した。

## ３．第 32 回(2016)京都賞に関する事項

### （１）京都賞審査機関委員の委嘱

2015 年 3 月 6 日開催の定時理事会において選任された第 32 回(2015)京都賞審査機関委員に対し、2015 年 11 月 11 日開催の第 32 回(2015)京都賞審査機関合同会議において正式に委嘱を行った。

### （２）推薦依頼書の発送

推薦依頼方針に基づいて、国内、海外の有識者に対し、推薦依頼書を 2015 年 6 月下旬に発送した。

### （３）推薦の受付

2015 年 9 月 16 日をもって推薦書の受付を締め切った。

### （４）京都賞審査機関による審査

各部門専門委員会を計 12 回、審査委員会を計 5 回開催した。
（審査委員会 1 回と京都賞委員会については 2016 年度に開催）

### （５）京都賞受賞者への副賞贈呈

現在、京都賞受賞者に贈呈している賞金、京都賞メダル、ディプロマに加え、副賞と

して日本人形を贈呈することを決定した。

## ４．第 33 回(2017)京都賞に関する事項

### （１）授賞対象分野の決定

2016 年 3 月 11 日開催の定時理事会において、第 33 回(2017)京都賞授賞対象分野を次の通り決定した。

先端技術部門　：エレクトロニクス
Electronics
基礎科学部門　：生物科学(進化・行動・生態・環境)
Biological Sciences（Evolution, Behavior, Ecology, Environment）
思想・芸術部門：音楽
Music

### （２）京都賞審査機関委員の決定

2016 年 3 月 11 日開催の定時理事会において、第 33 回(2017)京都賞審査機関委員を選任した。

# Ⅱ．助成事業

## １．2015 年度研究助成に関する事項

### （１）2015 年度研究助成金贈呈式の開催

開 催 日：2015 年 4 月 25 日（土）14:30
場　　所：グランドプリンスホテル京都
出席者数：140 名
内　　容：2015 年 3 月 6 日の定時理事会において承認された 51 件に対し、総額 5,100 万円の贈呈を行なった。また贈呈式に引き続いて、第 19 回盛和スカラーズソサエティ総会が開催され、京都大学 再生医科学研究所 教授　田畑泰彦氏に「自然治癒力を高めて病気を治すー再生医療における医工薬融合領域　バイオマテリアルの重要性ー」というテーマでご講演いただいた。
※附属明細 1「2015 年度研究助成対象者並びに研究題目」を参照

## ２．2016 年度研究助成に関する事項

### （１）募集要項の発送

2015 年 5 月下旬に、全国国立大学法人、公立大学（選抜）、私立大学（選抜）、大学共同利用機関法人・その他研究機関（選抜）の合計 138 大学・機関宛に対して研究助成募集要項と申請書を発送し、募集した。

**（２）応募の締切**

2015 年 7 月 25 日をもって申請書の受付を締め切り、490 件の応募を得た。この応募分について、各委員による予備選考を行なった。

**（３）研究助成選考委員会による選考**

2015 年 12 月 12 日と 12 月 13 日に研究助成選考委員会を開催し、50 件 5,000 万円の助成対象者を選考した。

**（４）研究助成対象者の決定と発表**

2016 年 3 月 11 日開催の定時理事会において、2016 年度研究助成対象者及び助成金額を決定し、プレス発表を行なった。

※附属明細 2「2016 年度研究助成対象者並びに研究題目」を参照

**（５）研究助成選考委員の公表**

助成対象者の発表に併せて、2016 年度研究助成選考委員を下記の通り公表した。

（役職は公表時現在）

榊　　裕之（委員長）　豊田工業大学 学長

［自然科学系］

甘利 俊一　　理化学研究所 脳科学総合研究センター 特別顧問
巌佐　庸　　九州大学 大学院理学研究院 教授
梶山 千里　　福岡女子大学 理事長・学長
春日 雅人　　国立国際医療研究センター 理事長
小原 雄治　　情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所 特任教授
佐藤 文隆　　京都大学 名誉教授
中西 重忠　　京都大学 名誉教授
西田 栄介　　京都大学 大学院生命科学研究科 教授
本庶　佑　　静岡県公立大学法人 理事長
村上 正紀　　立命館大学 特別招聘研究教授・理事補佐
森　　重文　　京都大学 数理解析研究所 教授

［人文・社会科学系］

佐和 隆光　　滋賀大学 学長
田中 成明　　京都大学 名誉教授
山室 信一　　京都大学 人文科学研究所 教授

横山 俊夫　　滋賀大学 理事・副学長
鷲田 清一　　京都市立芸術大学 理事長・学長

## ３．2017 年度研究助成に関する事項

### （１）研究助成選考委員の決定

2016 年 3 月 11 日の定時理事会において、2016 年度研究助成選考委員を選任した。

## ４．2016 年度特別助成に関する事項

### （１）特別助成審査委員の決定

2016 年 3 月 11 日の定時理事会において、2016 年度特別助成審査委員を選任した。

# Ⅲ．社会啓発事業

## １．米国「倫理と叡智のための稲盛国際センター」に関する活動

2015 年 10 月 15 日（木）、米国オハイオ州のケースウエスタンリザーブ大学で開催された 2015 年稲盛倫理賞の副賞として日本人形を贈り、同センターの活動を支援した。

## ２．国際相互理解の増進及び学術振興に寄与する活動

### （１）米国京都賞受賞者シンポジウム共催大学への寄附

2011 年より 4 年間実施した京都賞シンポジウム共催大学への寄附をさらに 4 年間継続し、その第 1 回 20 万ドル（1 校あたり 5 万ドル）の寄附を実施した。（4 年間で 4 大学総額 80 万ドルを寄附予定）

### （２）大阪大学大学院寄附講座への寄附

大阪大学大学院国際公共政策研究科が 2012 年 4 月 1 日設置した寄附講座「グローバルな公共倫理とソーシャル・イノベーション（稲盛財団）」に対して、第 4 回 3,100 万円の寄附を実施した。（5 年間で総額 1 億 5,500 万円を寄附予定）

### （３）京都大学「京都大学－稲盛財団合同シンポジウム」への寄附

京都大学主催、稲盛財団共催で開催するシンポジウム「京都大学－稲盛財団合同シンポジウム」実施のため、第２回（2015 年度分）3,000 万円の寄附を行った。（4 年間で総額１億 2,000 万円を寄附予定）
尚、第２回目のシンポジウムは、2015 年７月 11 日、12 日の２日間にわたり、京都大学百周年時計台記念館他にて開催された。

### （４）京都大学「京都こころ会議（Kokoro Initiative)」への支援

京都大学が、同大学のこころの未来研究センターを中心に新しく立ち上げた「京都こころ会議（Kokoro Initiative)」への活動支援として、第１回 1,500 万円の寄附を実施した。(6 年間で総額 9,000 万円を寄附予定)

## Ⅳ．その他の活動

### １．会議の開催状況

理事会、評議員会を下記の通り開催し、全ての議案が原案通りに承認された。

### （１）理事会

日　　時　2015 年６月１日（月）
議　　案　・2014 年度(平成 26 年度)事業報告及び決算報告の件
・定時評議員会開催の件

日　　時　2015 年６月 19 日（金）
議　　案　・第 31 回(2015)京都賞受賞者承認の件
・役付役員選任の件
・事務局長選任の件
・京セラ株式会社第 61 期定時株主総会議決権行使の件
報告事項　・代表理事・業務執行理事の業務執行報告の件
・サンディエゴでの第 14 回(2015)京都賞シンポジウムの件
・ケースウエスタンリザーブ大学「2015 年稲盛倫理賞」受賞者決定の件
・主要日程の件

日　　時　2016 年３月 11 日（金）
議　　案　・第 32 回(2016)京都賞審査に係わる委員変更の件
・第 33 回(2017)京都賞授賞対象分野の件
・第 33 回(2017)京都賞審査に係わる委員選任の件
・2016 年度研究助成対象者並びに助成金額承認の件

・2017 年度研究助成選考に係わる委員選任の件
・2016 年特別助成審査に係わる委員選任の件
・オックスフォード大学への寄附の件
・立命館大学への寄附の件
・2016 年度(平成 28 年度)事業計画及び収支予算の件
・定時評議員会開催の件(2016 年 6 月)

報告事項　・代表理事・業務執行理事の業務報告の件
・特別顧問就任の件
・第 32 回(2016)京都賞推薦状況報告の件
・ジョン・ノイマイヤー氏京都賞受賞記念
ハンブルク・バレエ団公演開催報告の件
・松山バレエ団「新白鳥の湖」京都公演に関する記者会見の件
・ケースウエスタンリザーブ大学「第 8 回稲盛倫理賞」授賞式開催報告
・主要日程の件

**（２）評議員会**

日　　時　2015 年 6 月 19 日（金）

議　　案　・2014 年度(平成 26 年度)事業報告及び決算報告の件
・理事・監事選任の件
・評議員選任の件
・定款変更の件

報告事項　・代表理事・業務執行理事の業務執行報告の件
・サンディエゴでの第 14 回(2015)京都賞シンポジウムの件
・ケースウエスタンリザーブ大学「2015 年稲盛倫理賞」受賞者決定の件
・主要日程の件

## ２．委員会等の開催状況

**（１）第 31 回(2015)京都賞の各委員会**

| 開催日 | 名称 | 議題 |
|---|---|---|
| 2014.4.4 | 京都賞基礎科学部門　第 2 回審査委員会 | 候補者審査 |
| 2014.4.5 | 京都賞思想・芸術部門 第 2 回審査委員会 | 候補者審査 |
| 2014.4.18 | 京都賞委員会 | 各部門受賞者審査 |

**（２）第 32 回(2016)京都賞及び 2016 年度助成事業の各委員会**

| 開催日 | 名称 | 議題 |
|---|---|---|
| 2015.11.11 | 京都賞審査機関合同委員会 | 審査基本方針決定 |
| 2015.12.12 | 研究助成選考委員会　自然科学系分科会 | 助成対象者選考 |
| 2015.12.13 | 研究助成選考委員会　人文・社会科学系分科会 | 助成対象者選考 |
| 2016.1.7 | 京都賞先端技術部門　第1回専門委員会 | 候補者審査 |
| 2016.1.9 | 京都賞基礎科学部門　第1回専門委員会 | 候補者審査 |
| 2016.1.10 | 京都賞思想・芸術部門　第1回専門委員会 | 候補者審査 |
| 2016.1.19 | 京都賞先端技術部門　第2回専門委員会 | 候補者審査 |
| 2016.1.23 | 京都賞基礎科学部門　第2回専門委員会 | 候補者審査 |
| 2016.1.24 | 京都賞思想・芸術部門　第2回専門委員会 | 候補者審査 |
| 2016.2.1 | 京都賞先端技術部門　第3回専門委員会 | 候補者審査 |
| 2016.2.6 | 京都賞基礎科学部門　第3回専門委員会 | 候補者審査 |
| 2016.2.7 | 京都賞思想・芸術部門　第3回専門委員会 | 候補者審査 |
| 2016.2.16 | 京都賞先端技術部門　第4回専門委員会 | 候補者審査 |
| 2016.2.20 | 京都賞基礎科学部門　第4回専門委員会 | 候補者審査 |
| 2016.2.21 | 京都賞思想・芸術部門　第4回専門委員会 | 候補者審査 |
| 2016.3.12 | 京都賞先端技術部門　第1回審査委員会 | 候補者審査 |
| 2016.3.13 | 京都賞基礎科学部門　第1回審査委員会 | 候補者審査 |
| 2016.3.19 | 京都賞思想・芸術部門　第1回審査委員会 | 候補者審査 |
| 2016.3.26 | 京都賞先端技術部門　第2回審査委員会 | 候補者審査 |
| 2016.3.27 | 京都賞基礎科学部門　第2回審査委員会 | 候補者審査 |

## ３．広報活動

### （１）記者発表の実施

| 実施日 | 内容 | 場所 |
|---|---|---|
| 2015.4.17 | 2015 年度助成金贈呈式・盛和スカラーズソサエティ総会<br>取材のお願い：資料配布 | 関係記者クラブ |
| 2015.6.9 | 第31回京都賞受賞者発表記者会見案内：資料配布 | 関係記者クラブ |
| 2015.6.19 | 第31回京都賞受賞者発表：記者会見 | 稲盛財団会議室 |
| 2015.9.28 | 第31回京都賞ウイーク行事概要：資料配布 | 関係記者クラブ |
| 2015.11.5 | 第31回京都賞ウイーク取材要項：資料配布<br>「京都賞ウイーク」が始まります：資料配布 | 関係記者クラブ |
| 2015.11.10 | 第31回京都賞受賞者共同記者会見 | 国立京都国際会館 |
| 2016.2.5 | 稲盛財団・松山バレエ団共同記者発表会見案内：資料配布 | 関係記者クラブ |
| 2016.2.17 | 稲盛財団・松山バレエ団共同記者発表会見 | ロームシアター京都 |
| 2016.3.6 | 2016年度研究助成対象者発表：資料配布 | 関係記者クラブ |

### （２）刊行物の発行

下記の刊行物を発行し、関係先に配布した。

| 発行日 | 内容 | 発行部数 |
|---|---|---|
| 2015.5 | 稲盛財団ニュース 86 号 | 4,000 部 |
| 2015.7 | 稲盛財団ニュース 87 号 | 10,000 部 |
| 2015.9 | 盛和スカラーズソサエティ会報 19 号 | 1,600 部 |
| 2015.9 | The Inamori Foundation Newsletter No.35 | 3,000 部 |
| 2016.1 | 稲盛財団ニュース 88 号 | 5,000 部 |
| 2016.2 | The Inamori Foundation Newsletter No.36 | 3,000 部 |

### （３）Facebook による情報発信

公式 Facebook ページ「京都賞－Kyoto Prize」を 9 月に新しく開設し、京都賞や稲盛財団にまつわる情報を発信した。（計 53 回）

### （４）ウェブサイトの運営

稲盛財団ウェブサイト(http://www.inamori-f.or.jp/)において、コンテンツの更新を行った。

## ４．理事、監事、評議員等の選任及び異動

### （１）理事・監事の選任

2015 年 6 月 19 日開催の定時評議員会において、下記の通り理事・監事の選任を行った。これにより理事は 22 名、監事は 2 名となった。

(役職は選任時現在)

| | | |
|---|---|---|
| 理事 | 甘利 俊一 | 理化学研究所脳科学総合研究センター 特別顧問 |
| | 安藤 忠雄 | 建築家 |
| | 稲盛 和夫 | 京セラ㈱ 名誉会長 |
| | 稲盛 豊実 | ケイアイ興産㈱ 相談役 |
| | 井村 裕夫 | 京都大学 名誉教授 |
| | 梅原　猛 | 国際日本文化研究センター 顧問 |
| | 柏原 康夫 | ㈱京都銀行 代表取締役会長 |
| | 金澤 しのぶ | |
| | 千　宗室 | 茶道裏千家 家元 |
| | 高階 秀爾 | 大原美術館 館長 |
| | 高原 豪久 | ユニ・チャーム㈱ 代表取締役社長執行役員 |
| | 中西 重忠 | 京都大学 名誉教授 |
| | 永易 克典 | ㈱三菱東京 UFJ 銀行 取締役会長 |

| | | |
|---|---|---|
| | 野依 良治 | 科学技術振興機構研究開発戦略センター センター長 |
| | 姫田 和仁 | 公益財団法人稲盛財団 事務局次長 兼 経理財務部長 |
| | 檜物 省一 | 公益財団法人稲盛財団 事務局長 |
| | 広中 平祐 | 京都大学 名誉教授 |
| | 福川 伸次 | 元通商産業省 事務次官 |
| | 本庶 佑 | 静岡県立公益大学法人 理事長 |
| | 本田 勝彦 | 日本たばこ産業㈱ 顧問 |
| | 松本 紘 | 理化学研究所 理事長 |
| | 山中 伸弥 | 京都大学 iPS 細胞研究所 所長 |
| 監事 | 大田 嘉仁 | 京セラ㈱ 取締役執行役員常務 |
| | 田村 浩 | 税理士 |

**（２）評議員の選任**

2015 年 6 月 19 日開催の定時評議員会において、下記の通り評議員の選任を行った。これにより評議員は 22 名となった。

（役職は選任時現在）

| | |
|---|---|
| 石田 隆一 | (株)イシダ 名誉会長 |
| 稲田 二千武 | ファミリーイナダ(株) 代表取締役社長 |
| 稲盛 朝子 | |
| 稲盛 瑞穂 | |
| 巌佐 庸 | 九州大学 大学院理学研究院 教授 |
| 内田 昌一 | 京都青果合同(株) 取締役名誉会長 |
| 小野寺 正 | KDDI(株) 代表取締役会長 |
| 梶山 千里 | 福岡女子大学 理事長・学長 |
| 久芳 徹夫 | 京セラ(株) 代表取締役会長 |
| 栗原 伸治 | たけだ病院経営研究所 所長 |
| 堺屋 太一 | 作家・経済評論家 |
| 榊 裕之 | 豊田工業大学 学長 |
| 佐和 隆光 | 滋賀大学 学長 |
| 塚本 能交 | (株)ワコールホールディングス 代表取締役社長 |
| 西枝 攻 | 弁護士 |
| 原 良也 | (株)大和証券グループ本社 名誉顧問 |
| 平原 一雄 | 公益財団法人東洋学林 理事長 |
| 福地 茂雄 | アサヒビール(株) 元会長 |
| 村田 純一 | 村田機械(株) 代表取締役会長 |
| 山口 悟郎 | 京セラ(株) 代表取締役社長 |
| 鷲田 清一 | 京都市立芸術大学 理事長・学長 |
| 渡部 隆夫 | ワタベウェディング(株) 相談役 |

## （３）役付役員の選任

2015 年 6 月 19 日開催の理事会において、下記の通り役付役員の選任を行った。
（役職は選任時現在）

| | | |
|---|---|---|
| 代表理事（理事長） | 稲盛 和夫 | 京セラ㈱ 名誉会長 |
| 会長 | 井村 裕夫 | 京都大学 名誉教授 |
| 副会長 | 松本　紘 | 理化学研究所 理事長 |
| 副理事長 | 金澤 しのぶ | |
| 副理事長 | 福川 伸次 | 元通商産業省 事務次官 |
| 専務理事 | 稲盛 豊実 | ケイアイ興産㈱ 相談役 |
| 業務執行理事（常務理事） | 檜物 省一 | 公益財団法人稲盛財団 事務局長 |

## （４）事務局長の任命

2015 年 6 月 19 日開催の理事会において、下記の通り事務局長の任命を行った。

| | |
|---|---|
| 事務局長 | 姫田 和仁 |

**【附属資料１】**

# 2015年度助成事業　研究助成対象者並びに研究題目

100万円/件

| | 対象者 | 研 究 題 目 |
|---|---|---|
| 自然科学系 | 和歌山大学　システム工学部　助教<br>アタラシ　ヒロノリ<br>新　史紀 | 糖鎖が形成する多点相互作用を利用した<br>新規接着機構の開発 |
| | 自然科学研究機構　国立天文台　准教授<br>イオノ　ダイスケ<br>伊王野　大介 | ALMA望遠鏡を用いた遠方サブミリ波銀河の<br>高分解能観測 |
| | 岡山大学　大学院自然科学研究科　助教<br>イシカワ　アツシ<br>石川　篤 | 音響メタマテリアルを用いた開口部遮音材料の開発 |
| | 大阪大学　大学院工学研究科　講師<br>イシモト　タクヤ<br>石本　卓也 | 三次元積層造形技術を基軸とする、骨力学機能を<br>模倣した骨インプラント材料開発 |
| | 名古屋大学　大学院理学研究科　特任助教<br>イシモト　ヒロシ<br>石元　広志 | 性的モチベーションを高める求愛歌の脳内統合処理機構：<br>高次脳神経回路の同定と動作機序の解明 |
| | 名古屋市立大学　大学院薬学研究科　准教授<br>イノウエ　ヤスミチ<br>井上　靖道 | メチルトランスフェラーゼSET8による<br>TGF-βシグナル制御を介した<br>がん悪性化メカニズムの解明 |
| | 九州大学　大学院医学研究院　助教<br>イワモリ　トクコ<br>岩森　督子 | 体外培養系による精子形成を目指した<br>生殖細胞間架橋関連因子の同定<br>および細胞連結増殖の機能解析 |
| | 横浜国立大学　大学院工学研究院　准教授<br>ウブカタ　タカシ<br>生方　俊 | 導電性高分子材料の動的光パターニング法の開発 |
| | 東北大学　原子分子材料科学高等研究機構　助教<br>オカダ　ヨシノリ<br>岡田　佳憲 | 結晶対称性の破れによるトポロジカル結晶絶縁体の<br>Diracギャップ形成メカニズムの解明 |
| | 大阪大学　大学院理学研究科　助教<br>オヌマ　タケシ<br>小沼　健 | 脊索動物胚の左右割球および表皮細胞の動きから<br>器官形成の全容を見る |
| | 京都大学　数理解析研究所　助教<br>カワノウエ　ヒラク<br>川ノ上　帆 | 代数多様体の特異点解消 |
| | 理化学研究所　環境資源科学研究センター<br>基礎科学特別研究員<br>キタガワ　ムネノリ<br>北川　宗典 | 原形質連絡を介した細胞間情報伝達の<br>制御メカニズムの解明 |
| | 京都大学　大学院工学研究科　准教授<br>クラハシ　タクヤ<br>倉橋　拓也 | 複素環高分子半導体材料の開発に基づく<br>高効率有機薄膜太陽電池の構築 |
| | 東北大学　金属材料研究所　助教<br>クロサワ　シュンスケ<br>黒澤　俊介 | 資源探査、医療、宇宙観測にむけた<br>高機能放射線検出素子の開発 |

| | 対象者 | 研 究 題 目 |
|---|---|---|
| 自然科学系 | 横浜国立大学　大学院工学研究院<br>テニュアトラック准教授<br>ケブカワ　ヨウコ<br>癸生川　陽子 | 隕石有機物を用いた小惑星の熱履歴の研究 |
| | 自然科学研究機構　国立天文台　助教<br>コウノ　ユウスケ<br>河野　裕介 | ブラックホール直接撮像のための<br>気球VLBI搭載気密計算機の開発 |
| | 東北大学　大学院工学研究科　助教<br>サイトウ　キョウスケ<br>齊藤　恭介　※注１ | GaSe単分子層ナノ薄膜における巨大非線形光学効果と<br>テラヘルツ電磁波発生への適用 |
| | 名古屋大学　大学院情報科学研究科　助教<br>ササハラ　カズトシ<br>笹原　和俊 | 生物の行動系列データのモデリング手法の研究 |
| | 東京大学　大学院理学系研究科　講師<br>ツイヒジ　タカノブ<br>對比地　孝亘 | 恐竜類における頸部可動範囲の機能形態学的解析 |
| | 九州大学　生体防御医学研究所　准教授<br>ツカダ　ユウイチ<br>束田　裕一 | 哺乳類着床前初期胚における<br>細胞外分泌タンパク質の役割 |
| | 筑波大学　数理物質系　准教授<br>ツジムラ　セイヤ<br>辻村　清也 | ソフト界面と階層空間が制御された炭素材料での<br>酵素の超活性 |
| | 東京理科大学　理学部第二部　嘱託助教<br>ナカ　ユミコ<br>中　裕美子 | スルホニル基含有星型高分子を用いた<br>規則的ポーラス構造形成 |
| | 東京工業大学　大学院生命理工学研究科　助教<br>ニカイドウ　マサト<br>二階堂　雅人 | 収斂進化の遺伝的基盤とそのプロセスの解明 |
| | 大分大学　医学部　助教<br>ハシモト　サトル<br>橋本　悟 | 早老症におけるゲノム不安定性と<br>転写調節異常の解明 |
| | 大阪府立大学　大学院工学研究科　准教授<br>フクダ　ヒロカズ<br>福田　弘和 | 体内時計のトポロジカルチャージによる<br>植物の脱分化現象の解明 |
| | 東北大学　大学院工学研究科　助教<br>フジモト　ユタカ<br>藤本　裕 | 環境放射線の線量計測が可能な<br>珪酸塩系ガラスの創生 |
| | 大阪大学　免疫学フロンティア研究センター<br>特任助教<br>アリソン ジェーン　ホーブロ<br>Alison Jane Hobro | 無標識ラマン分光法による<br>インターロイキン-6 mRNA制御領域の構造解析 |
| | 北海道大学　大学院工学研究院　准教授<br>マツシマ　ヒサヨシ<br>松島　永佳 | 微小重力環境を利用した電極材料創製による<br>水素同位体分離電解法への展開 |

| | 対象者 | 研 究 題 目 |
|---|---|---|
| 自然科学系 | 京都大学　霊長類研究所　特定助教<br>マツダ　イッキ<br>松田　一希 | 性的二型の進化要因の解明：<br>テングザルの鼻はなぜ長いのか？ |
| | 静岡大学　大学院工学研究科　助教<br>マツダ　ヤスヒロ<br>松田　靖弘 | 高い生体、環境親和性を持つ高分子の簡便な<br>ゲル形成手法の確立と材料展開 |
| | 名古屋大学　大学院工学研究科　助教<br>マツダ　ユウ<br>松田　佑 | ハイドロゲル球体の衝突により粉粒体層上に<br>形成されるクレーター形状に関する研究 |
| | 物質・材料研究機構　環境・エネルギー材料部門<br>研究員<br>マツナガ　テツヤ<br>松永　哲也 | 粒界組織制御による高クロムフェライト系耐熱鋼の<br>溶接組織安定化 |
| | 筑波大学　医学医療系　教授<br>マツモト　マサユキ<br>松本　正幸（2014年度伯楽制度対象者） | 前頭前野機能への局在性ドーパミン入力の役割 |
| | 静岡大学　大学院理学研究科　助教<br>ミツイ　ユウタ<br>三井　雄太 | スロースリップイベントの繰り返し間隔変化から探る<br>地震の準備過程 |
| | 大阪大学　大学院工学研究科　助教<br>ムタ　ヒロアキ<br>牟田　浩明 | 変調ドーピングによる高移動度熱電材料の性能向上 |
| | お茶の水女子大学<br>大学院人間文化創成科学研究科　准教授<br>モリ　ヒロトシ<br>森　寛敏 | 劣化耐性をもつ白色有機EL材料開発のための<br>励起状態分子間相互作用の理論的制御指針の探索 |
| | 愛媛大学　農学部　准教授<br>ヤエノ　タカシ<br>八丈野　孝 | 植物の免疫システムを破綻させる<br>病原糸状菌エフェクターの同定とその分子機構の解明 |
| | 東京大学　大学院工学系研究科　助教<br>ヤジマ　タケアキ<br>矢嶋　赳彬 | セラミックス強誘電体薄膜の転写技術の確立と<br>超高圧用圧力分布型センサシートへの応用 |
| | 北海道大学　大学院理学研究院　講師<br>ヤスダ　サトシ<br>保田　諭 | 高活性触媒能をもつ二次元ヘテロ材料の<br>ボトムアップ合成 |
| | 東京農工大学　大学院工学研究院　特任准教授<br>ヤナギサワ　ミホ<br>柳澤　実穂 | 微小空間での密度揺らぎと濡れの物理的解明による<br>ミクロゲルの形状制御法の確立 |
| | 浜松医科大学　医学部　助教<br>ワタナベ　ミホ<br>渡部　美穂 | 細胞内クロライド恒常性維持機構の破綻による<br>精神疾患病態の解明 |
| | | 小計　41件 |

| | 対象者 | 研 究 題 目 |
|---|---|---|
| 人文・社会科学系 | 大阪大学　大学院文学研究科　教授<br>イトウ　ノブヒロ<br>伊東　信宏 | バルカンとアジアにおける「演歌型」大衆音楽の<br>国際比較 |
| | 九州大学　大学院法学研究院　准教授<br>イノウエ　タカヒロ<br>井上　宜裕 | 年齢が刑事責任に及ぼす影響<br>－少年犯罪及び高齢者犯罪の合理的解決に向けて－ |
| | 金沢大学　人間社会研究域　准教授<br>オオノ　トモヒコ<br>大野　智彦 | ダム建設をめぐる「専門性」と「民主制」:<br>大規模ダムと田んぼダムの比較 |
| | 東京大学　総合研究博物館　特任助教<br>キクチ　トシマサ<br>菊池　敏正 | ミュージアムにおけるレプリカを用いた<br>包括的な学術標本の活用について |
| | 九州大学　大学院芸術工学研究院　准教授<br>キシ　ヤスコ<br>岸　泰子 | 近世公家社会における婚礼の都市史的研究 |
| | 新潟大学　研究推進機構　准教授<br>サコン　ユキムラ<br>左近　幸村 | 20世紀初頭の環日本海と環黒海の比較研究:<br>ロシア帝国論の視点から |
| | 奈良教育大学　教育学部　准教授<br>タケウチ　シンペイ<br>竹内　晋平 | 京都府画学校関係者による図画教科書（毛筆）の<br>アーカイビングに関する基礎的研究 |
| | 京都大学　経済研究所　教授<br>ナカジマ　トモユキ<br>中嶋　智之 | 財政危機に関するマクロ経済分析 |
| | 徳島大学　埋蔵文化財調査室　准教授<br>ハシノ　シンペイ<br>端野　晋平 | 朝鮮無文土器人は環境に対していかにして適応したのか?<br>－集落分析による水稲農耕伝播メカニズムの解明－ |
| | 東京大学　社会科学研究所　准教授<br>ホシロ　ヒロユキ<br>保城　広至 | 政府開発援助（ODA）は被援助国との政治経済関係に<br>どのような影響を与えるのか<br>－パネル・データによる実証分析－ |
| | | 小計　10件 |
| | | 合計　51件 |

※所属･役職は、申請時。

※注１：東北大学大学院工学研究科　助教　齋藤恭介氏は、2015 年 10 月 19 日逝去のため、助成金を返納されました。

**【附属資料２】**

# 2016年度助成事業　研究助成対象者並びに研究題目

100万円/件

| | 対象者 | 研究題目 |
|---|---|---|
| 自然科学系 | 岡山大学　資源植物科学研究所　助教<br>イケダ　ハジメ<br>池田　啓 | 植物の生殖的隔離を担う分子基盤の解明 |
| | 北海道大学　大学院工学研究院　助教<br>イシダ　ヨウヘイ<br>石田　洋平 | 金属ナノクラスターを分子として用いる<br>新規人工光合成系の提案 |
| | 宮崎大学　テニュアトラック推進機構<br>テニュアトラック助教<br>イナバ　ヤスコ<br>稲葉　靖子 | 呼吸ロバストな細胞系統を利用した<br>植物ミトコンドリア活性化因子の同定と機能解析 |
| | 名古屋工業大学　大学院工学研究科　准教授<br>イノマタ　トモヒコ<br>猪股　智彦 | イオン液体修飾基板と生物模倣型触媒を利用した<br>水からの高効率水素製造 |
| | 東京大学　大学院医学系研究科　特任助教<br>ウエダ　カズタカ<br>上田　和孝 | エストロゲンによる代謝恒常性制御機構の解明 |
| | 北海道大学　創成研究機構　特任助教<br>ウエハラ　リョウタ<br>上原　亮太 | 細胞を二分する細胞膜変形の分子メカニズム |
| | 理化学研究所　生命システム研究センター<br>ユニットリーダー<br>エビスヤ　ミキ<br>戎家　美紀 | 自律的細胞パターン形成モデルの分子生物学的証明と<br>リアルパラメータ探索 |
| | 大阪大学　大学院理学研究科　講師<br>オオカワ　シンノスケ<br>大川　新之介 | 非可換代数多様体に関する研究 |
| | 京都大学　大学院情報学研究科　助教<br>オオゼキ　マサユキ<br>大関　真之 | スピングラス理論を駆使した量子誤り訂正符号の<br>読み出しアルゴリズムの開発 |
| | 京都大学　大学院情報学研究科　助教<br>カネコ　メグミ<br>金子　めぐみ | 同一周波数全二重通信機能を利用した<br>無線通信システムのためのプロトコル設計 |
| | 大阪大学　微生物病研究所　助教<br>キドヤ　ヒロヤス<br>木戸屋　浩康 | 血管関連ミエロイド細胞による<br>血管移動の制御機構の解明 |
| | 九州大学　九州大学病院　助教<br>クニサキ　ユウヤ<br>國崎　祐哉 | 加齢に伴う骨髄環境の変化による<br>造血器腫瘍発症機構の解明 |
| | 慶應義塾大学　医学部　教授<br>クボタ　ヨシアキ<br>久保田　義顕 | 神経による網膜血管パターニングの時空間的制御 |
| | 京都大学　霊長類研究所　准教授<br>ゴトウ　ユキオリ<br>後藤　幸織 | 社会階級におけるモノアミンの役割と<br>精神疾患の進化的起源の解明 |
| | 北海道大学　大学院理学研究院　准教授<br>コバヤシ　アツシ<br>小林　厚志 | プロトン伝導性を可視化する<br>発光性配位高分子ナノ結晶の創出 |

| | 対象者 | 研究題目 |
|---|---|---|
| 自然科学系 | 東京大学　生産技術研究所　准教授<br>コバヤシ　テツヤ<br>小林　徹也 | 理論進化生物学と理論神経科学を融合した生体適応の統一的理解 |
| | 東北大学　多元物質科学研究所　助教<br>コバヤシ　マコト<br>小林　亮 | 新規透明導電膜の開発に向けた<br>5価および6価金属ドープ$TiO_2$（B）結晶の合成 |
| | 筑波大学　国際統合睡眠医科学研究機構<br>准教授<br>サカグチ　マサノリ<br>坂口　昌徳 | 光遺伝学にて明らかにする睡眠中の記憶における<br>新生ニューロンの機能 |
| | 和歌山県立医科大学　先端医学研究所　助教<br>ササキ　イズミ<br>佐々木　泉 | 粘膜系免疫アジュバントコレラ毒素による<br>炎症性サイトカインIL-1β産生誘導の分子機構の解明 |
| | 慶應義塾大学　環境情報学部　専任講師（有期）<br>サノ　ヒトミ<br>佐野　ひとみ | 統合的数理モデルに基づく難治性てんかん治療に向けた<br>分子標的候補の予測 |
| | 理化学研究所　眞貝細胞記憶研究室　研究員<br>シマヅ　タダヒロ<br>島津　忠広 | ミトコンドリアタンパク質メチル化による<br>脂肪酸代謝制御の解明：メチル化と代謝の<br>クロストーク解明を目指して |
| | 新潟大学　大学院医歯学総合研究科<br>特任准教授<br>シミズ　イッペイ<br>清水　逸平 | 褐色アディポカインPCPE-1を介した<br>新たな非アルコール性脂肪性肝炎の発症機構の解明 |
| | 岡山大学　大学院自然科学研究科　助教<br>スガ　ミチヒロ<br>菅　倫寛 | 自由電子レーザーを用いた光合成の酸素発生反応に<br>おける分子機構の可視化 |
| | 東北大学　学際科学フロンティア研究所　助教<br>ダイガク　ヤスカズ<br>大学　保一 | ゲノム複製における誤りがちな<br>DNAポリメラーゼによる突然変異生成機構の解明 |
| | 東京大学　大学院理学系研究科　助教<br>タカハシ　トモコ<br>高橋　朋子 | ヒト特異的なRNAサイレンシングと抗ウイルス反応の<br>クロストーク |
| | 福井大学　医学部　特命助教<br>タケウチ　アヤコ<br>竹内　綾子 | 新規Cl輸送体によるClダイナミクス<br>ーミトコンドリアとBリンパ球の機能連関の<br>制御メカニズムの解明 |
| | 富山大学　大学院医学薬学研究部　助教<br>タケウチ　ユウイチ<br>竹内　勇一 | 行動の左右性を支配する神経・遺伝基盤の解明 |
| | 早稲田大学　高等研究所　助教<br>タナカ　シュウ<br>田中　宗 | 量子アニーリングに基づく機械学習理論の研究 |

| | 対象者 | 研究題目 |
|---|---|---|
| 自然科学系 | 東京大学　大学院医学系研究科　助教<br>ナカオカ　シンジ<br>中岡　慎治 | 免疫系を記述するための新しい形式文法の研究 |
| | 筑波大学　医学医療系　助教<br>ニシムラ　ケン<br>西村　健 | iPS細胞誘導における<br>Klf4 量依存的多能性獲得機構の解明 |
| | 大阪府立大学　21世紀科学研究機構　特別講師<br>ノウチ　リョウ<br>野内　亮 | 分子スケールのスイッチング層を用いた<br>タッチングセンサー原理の実証 |
| | 名古屋大学　大学院生命農学研究科　助教<br>ハシモト　ミミ<br>橋本　美海 | ゼニゴケを用いた重力応答の分子メカニズムの解明 |
| | 山口大学　大学院医学系研究科　助教<br>ハラ　ユウキ<br>原　裕貴 | 機能的な核の構築に必要な細胞内環境要因の探索 |
| | 名古屋大学<br>トランスフォーマティブ生命分子研究所<br>特任准教授<br>ヒロタ　ツヨシ<br>廣田　毅 | 新規化合物を用いた概日時計とガンとの連関の解析 |
| | 大阪大学　微生物病研究所　助教<br>フジタ　トシツグ<br>藤田　敏次 | ゲノム編集技術を応用した<br>新規な遺伝子座特異的ゲノム結合分子同定法の確立 |
| | 京都大学　数理解析研究所　講師<br>ホシ　ユウイチロウ<br>星　裕一郎 | p進Teichmuller理論に関わる双曲的代数曲線の<br>数論の研究 |
| | 東北大学　大学院理学研究科　准教授<br>マツバラ　マサカズ<br>松原　正和 | 金属メタマテリアル構造を用いた<br>新規光－スピン制御機構の開拓 |
| | 奈良先端科学技術大学院大学<br>物質創成科学研究科　教授<br>ヤナギダ　タカユキ<br>柳田　健之 | ハライド透明セラミックスシンチレータの開発 |
| | 筑波大学　生命領域学際研究センター　助教<br>ヤマシロ　ヨシト<br>山城　義人 | メカニカルストレス応答因子に着目した<br>大動脈瘤破裂を未然に防ぐ分子マーカーの解析 |
| | 自然科学研究機構　生理学研究所　准教授<br>ワケ　ヒロアキ<br>和氣　弘明 | 大脳灰白質における髄鞘化の学習に対する寄与 |
| | | 小計　40件 |

| | 対象者 | 研究題目 |
|---|---|---|
| 人文・社会科学系 | 大阪大学　大学院法学研究科　准教授<br>アオキ　ヒロヤ<br>青木　大也 | デジタルデータとしての製品デザインの<br>知的財産法による保護 |
| | 名古屋大学　大学院経済学研究科　准教授<br>アダチ　タカノリ<br>安達　貴教 | 広告活動の理論的・実証的分析：産業経済学的視点から |
| | 立命館大学　政策科学部　准教授<br>ウエハラ　タクロウ<br>上原　拓郎 | 里海の実現に向けた実用的な<br>サステイナビリティ評価手法の構築とその検証：<br>岡山県日生町を事例として |
| | 人間文化研究機構　国文学研究資料館　教授<br>カンサク　ケンイチ<br>神作　研一 | カリフォルニア大学バークレー校三井文庫<br>貴重書解題目録の編刊 |
| | 筑波大学　人文社会系　准教授<br>シダ　タイセイ<br>志田　泰盛 | 中世インドにおける刹那滅論争史と無常観の<br>東漸に関する研究 |
| | 新潟大学　経営戦略本部　准教授<br>チョウ　ウン<br>張　雲 | 国際関係における戦略認知と外交政策の関連性に関する<br>理論的・実証的研究－中国の対日外交を中心に |
| | 名古屋市立大学　大学院芸術工学研究科<br>准教授<br>ナカガワ　リュウ<br>中川　隆 | タブレット端末用音楽創作ソフトウェアが創り出す<br>新しい場 |
| | 日本大学　経済学部　准教授<br>ナカムラ　ヤスヒコ<br>中村　靖彦 | 混合寡占市場における公企業および私企業の<br>長期的な意思決定－合併と競争構造－ |
| | 名古屋大学　高等研究院　特任助教<br>ヨシダ　サユリ<br>吉田　早悠里 | オーストリアの博物館が所蔵する20世紀初頭の<br>エチオピア民族誌的資料のデジタル化と目録作成 |
| | 筑波大学　体育系　助教<br>リ　チャヌ<br>李　燦雨 | 江戸時代における渡来武術に関する研究<br>－瀬戸内海に伝わる近世朝鮮武術に着目して－ |
| | | 小計　10件 |
| | | 合計　50件 |

※所属･役職は、申請時。